

緊急稲作情報

平成 30 年 7 月 26 日
JA 北越後

高温が続き、葉色が急激に低下しています。今後も 8 月上旬まで高温気象が続く予想です。葉色が低下している場合は基肥一発栽培でも追肥をして下さい。

★コシヒカリ分施肥栽培

- ・ 2 回目穂肥は必ず実施しましょう。

肥料	穂肥時期	施用量
北越後穂肥専用（化学 N 96%）	出穂 10 日前	N 成分で 1~1.5 kg/10a
北越後有機穂肥（化学 N 50%）	出穂 15~12 日前	
味好 2 号（有機 100%）	出穂 20~15 日前	

※その後も葉色が薄い場合は、3 回目の穂肥を実施しましょう。

★コシヒカリ基肥一発栽培

- ・ 葉色が低下している場合は下表を参考に追肥をして下さい。

肥料	穂肥の判断目安	施用量
北越後穂肥専用（化学 N 96%）	出穂 10 日前	N 成分で 1.0 kg/10a
北越後有機穂肥（化学 N 50%）	出穂 15~10 日前	N 成分で 1.5 kg/10a
味好 2 号（有機 100%）	出穂 15~10 日前	

おすすめ穂肥：北越後有機穂肥

～化学 N と有機が半々なのでゆっくり長効き、後期栄養対策に○



！台風予報が出ています！

台風接近により懸念される被害

- 強風・フェーン現象による白穂の発生や葉・茎の損傷
- 穂の損傷や登熟不良による品質低下

★事前対策

- ①強風により水分ストレスを受けると白穂の発生や、玄米への養分転流が阻害され乳心白粒の発生を助長しますので、水分不足にならないよう速やかに湛水管理を行ってください。
 - ②輪番制等で取水制限がある地域では、取水可能な日を選び早めに湛水しておきましょう。
- ※地域で限りある水を有効に活用する観点から、用水掛け流しの管理は絶対にやめましょう。

★事後対策

- ①出穂前後 25 日間は湛水管理（田面が露出しない状態）としてください。ただし異常高温時の長期間湛水は根腐れを助長する恐れがあるので、定期的に水を更新してください。
- ②フェーン現象に遭遇した籾や、倒伏したほ場からの籾は、胴割粒の発生リスクが高まります。刈り遅れに注意し、丁寧な乾燥・調製に努めましょう。

！用水不足！掛け流し厳禁！

早い梅雨明けから降雨が全くなく、水不足です。
大切な用水、適切な水管理をお願い致します。



！斑点米カメムシ類が増えています！

近年格落ち被害を増やしている斑点米…

予察調査結果と今後の天気予報から、今年も斑点米カメムシ類の発生が多くなる予想です。再度防除を徹底して被害を抑えましょう！

今年もたくさん飛んでいます！



要注意ポイント①

【畦畔薬剤防除実施率が低下しています】

斑点米カメムシは畦畔で増殖し、イネの出穂後に水田内に侵入します。現在、畦畔にいるのは出穂期に水田に入ってくる世代ですのでこの時期にカメムシ密度を下げないと加害世代の発生数は増加します。

※斑点米を作るのは侵入世代&子世代

要注意ポイント②

【田んぼの周りのイネ科雑草】

予察調査の結果から、「イネ科雑草あり」の畦畔でカスミカメ類が多く確認されています。一斉防除期間は終了しましたが、草刈り・畦畔防除未実施のところでは、必ず畦畔や草地の防除を実施しましょう。

要注意ポイント③

【極早生・早生品種】

今年は水田内すくい取りでの捕殺数が多い傾向です。出穂の早い品種はカメムシたちに狙われています。本田2回の防除を徹底し、被害の多い地域、品種では粒剤等での追加防除を検討しましょう。

要注意ポイント④

【飼料用米ほ場】

地域のカメムシ密度を増やさないために飼料用米ほ場でも防除の徹底をお願い致します！

今が出穂前の斑点米カメムシ最終防衛ラインです！

イネ科の草地は草刈り又は薬剤防除徹底を！

7月末日まで再度防除の徹底を！

おすすめ農薬：MR. ジョーカー

